

テーマ：観光（実践校）

## 檜山管内 上ノ国町立上ノ国中学校

### ■本実践のポイント（概要）

・ふるさとへの愛着や誇りを育むため、総合的な学習の時間に、町内の国指定史跡「勝山館」の訪問や学芸員・地域の方々を講師とした体験学習等から課題を設定し、上ノ国町の歴史やその特色を学びました。また、上ノ国町のPR活動として、「上ノ国の魅力」を伝えるための観光パンフレットを作成し、地域をはじめ、宿泊研修や修学旅行先で配布し、3年間の学びの成果と「上ノ国の魅力」を発信しました。

### ■ふるさと教育・観光教育の実践内容

#### ①取組の様子

##### (1)課題の設定

課題設定に向けて、上ノ国町に関する意識アンケートを取り、その結果を参考にしながらふるさと学習の目的を伝え、見通しをもたせました。その後、学芸員や地域の方々を講師として招き、「勝山館訪問」「すり身づくり体験」等の活動とおして、自らの興味・関心に基づいて課題を設定できるよう工夫しました。

※講師：学芸員、教育委員会、ひやま漁業協同組合女性部上ノ国支部



【魚組の方によるすり身づくり体験】

##### (2)情報の収集

第1学年は、体験活動、学芸員の方などへのインタビュー、各種資料、ふるさと学習副読本から、設定した課題に対応した情報を収集しました。

第2学年では、宿泊研修先で上ノ国町についてのアンケート調査を実施しました。また、上ノ国町の歴史等と比較できるように、自主研修先の函館市の魅力について情報収集を行いました。



【パンフレット(上) キャッチコピー(下)】



##### (3)整理・分析

収集した情報の整理・分析を行い、身近な地域に、アイヌの人たちと和人についての特色的な歴史や文化があることについて。アンケート調査等から勝山館の認知度をあげる工夫が必要なこと。函館市の魅力を上ノ国町と比較することで、歴史や風景が強みという点において上ノ国町と共通していることを学びました。

##### (4)まとめ・表現

第1学年では、檜山振興局の観光に関する報告書から、「上ノ国の魅力を伝えたい」というテーマをもち、学習したことを基に、「上ノ国の魅力」を伝えるための『観光パンフレット』を作成し、地域の人たちへ配付しました。

第2学年では、宿泊研修で町のPR活動としてパンフレットを配付し、第3学年では、修学旅行でPR活動を検討しています。また、町役場をはじめ、檜山振興局、函館駅、札幌駅等の施設にもパンフレットを設置しています。さらに、各学年で探究した内容をスライドや模造紙等でまとめ、学んだことを「あまのがわ総合学習発表会」で発表し合いました。



【宿泊研修でのPR活動(函館市)】

#### ②生徒の感想等

- ・上ノ国の歴史や風景、特産物などを知ってもらい、観光客を集めたいと思いました。そして、知名度を上げるために、観光パンフレットを作って町外の人たちへ配るのは、よい方法だと思いました。
- ・上ノ国町に興味を持つきっかけとなるツール(パンフレット・キャッチコピー)が完成してよかったです。
- ・アンケート結果から上ノ国町の歴史は、魅力を伝える強みになるのではないかと思います。

### ■取組の成果(○)と課題(●)

- 史跡訪問、学芸員や地域の方々との体験学習を通して、より専門的に学ぶ、上ノ国町の歴史への興味・関心をもてただけではなく、ふるさとのよさを再発見ができたと感じる生徒が多くいました。
- 半数以上がもっと調べたいと思うなど、ふるさとへの愛着や誇りを育むきっかけになりました。
- 新聞等の統計資料の読み取りなど、他の教科との教科等横断的な学習が必要であると考えます。
- 継続的に地域の方々をはじめとした外部人材の連携と活用を図っていく必要があります。